

2/18 思い出詰まった素材で作る版画体験

文化会館が主催したメディウムを使った版画ワークショップが開催



完成までもう少し。メディウムのりを塗り重ねる

町文化会館で「ミクストメディアで作るメディウム版画のワークショップ」が開催され、崎平区出身の国内で活躍する美術家の前澤妙子さんを講師に招き、子どもから高齢者まで「メディウムのり（添加剤）」を使った版画製作を楽しみました。

この日、参加者は写真や雑誌の切り抜き、押し花などを持ち寄り、ハガキサイズの用紙にメディウムのりを塗り重ねて製作。苦戦しながらも複雑に重なる色や形を想像しながら取り組んでいました。

前澤さんは「メディウムは簡単に手に入る画材なのでぜひご自宅でも楽しんでほしい」と笑顔で話しました。

地元の特産品を国内外にPR

2/23~25

富士山静岡空港主催「ふじのくに空のしおり-3776-」が開催されました

富士山静岡空港で、「ふじのくに空のしおり-3776-」と題し、FDAパイロットと整備士による航空教室や自衛隊制服体験会などが行われました。また、空港周辺8市2町（静岡市・島田市・焼津市・藤枝市・掛川市・御前崎市・菊川市・牧之原市・吉田町・川根本町）自慢の特産品を持ち寄った販売会も開催され、詰めかけた来場者は、逸品に込められた生産者の思いに聞き入っていました。

会場を訪れた女性（牧之原市）は、「普段なかなか行くことがない川根本町の魅力を知ることができてうれしい」と話していました。



市町自慢の特産品を買い求める数多くの来場者

3/1 消費者トラブルネットサービス活用講座

山村開発センターで開催されたネットサービス活用講座



説明を受け、実際にスマートフォンを操作する受講者

山村開発センターで「消費者トラブルネットサービス活用講座」が開催されました。講師には「株式会社東海道シグマ」の職員が招かれ、川根本町シルバー人材センターから9名の受講者が参加しました。

講座では、暮らしに役立つ電子決済アプリの紹介とそのダウンロード方法や決済方法を学び、キャッシュレス決済の便利さや危険性について、消費者トラブルの事例を踏まえながら説明されました。また、架空請求やウイルスメールについての説明など、身近に潜む危険性についての対処法などを学びました。

一面に広がる花畑を心待ちにして

3/5

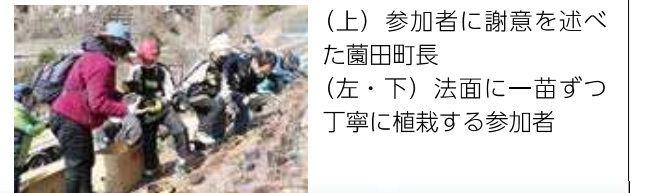
長島ダムでの植栽イベント 今年もリュウノヒゲやフジバカマなどを植える

大井川の水の恩恵を受ける7市2町（島田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御前崎市、菊川市、牧之原市、吉田町、川根本町）で組織される「大井川長島ダム流域連携協議会」は、長島ダムの法面にキキョウなどの在来植物を植栽するイベントを開催し、流域住民約50人が参加しました。

この植栽イベントは、流域住民が水源地域を訪れ保全活動を実施することで、日常生活に密接にかかわる「水」の大切さを再認識するきっかけづくりを図るために開催されています。

植栽作業では、参加者が協力し合い、ダム右岸の法面にキキョウの苗の他、リュウノヒゲやシラン、フッキソウなどの苗約2,300株を植えました。

また、植栽作業後には、長島ダム管理所職員のダム解説やエコティカわねによるダム周辺の散策ツアーが行われました。参加者は、普段は学ぶ機会がないダムについて熱心に見学して理解を深めました。



(上) 参加者に謝意を述べた菌田町長  
(左・下) 法面に一苗ずつ丁寧に植栽する参加者



▲キキョウの花（開花時期：6月～10月頃）

3/3 自然が大好き！ 想いを見事に表現

令和4年度静岡県国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール授賞式開催



「葉一枚一枚を丁寧に描いた」と笑顔の大畑さん

静岡県および県教育委員会、県グリーンバンクが緑化運動の一環として実施する『国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール』の授賞式が行われました。

同コンクールには、県内の小中学校と高校から237点の応募があり、小学校の部で中川根第一小学校5年の大畑嬉依さん（徳山区）が最高賞の県知事章に輝きました。

大畑さんは「川根本町の自然が大好き。この美しい自然をみんなで守っていききたいという気持ちを込めて描いた」と話しました。